

京都芸術大学と日本フードサービス協会が連携協力協定を締結

学校法人瓜生山学園 京都芸術大学（所在地：京都府、学長：佐藤 卓、以下：京都芸術大学）と一般社団法人 日本フードサービス協会（所在地：東京都、会長：棕本 充士、以下：日本フードサービス協会）は、学生が外食産業や食の生産現場への理解を深め、情報・デザインの視点から食を取り巻く課題や外食産業の新たな魅力を見だし、その成果を発信することを目的として、連携協力に関する協定を締結します。

これに伴い、2026年8月3日月曜日にJFセンター（港区 浜松町）において、両者の代表者による連携協力協定締結式を開催します。当日は、協定の趣旨・概要説明、協定書への署名、代表者挨拶、記念撮影などを予定しています。

本連携では、外食産業をテーマとしたオリエンテーションを起点に、日本フードサービス協会の会員企業や生産法人などへのフィールドリサーチを行います。学生は、そこで得た学びをもとに「食の未来」を構想し、成果報告展示会を通じて社会へ発信します。

■連携の背景

食卓と食の生産現場との距離が広がる中、若い世代の「食」への関心の希薄化が課題となっています。また、農林水産業や食品産業が直面する担い手不足や環境問題は、将来にわたり安定した食を支える上で重要な社会課題です。

外食産業は、消費者と食の生産現場を結ぶ重要な接点であるとともに、料理や接客、店舗空間、食器など、多様な要素によって食体験を生み出す産業です。一方、情報やデザインを学ぶ学生にとって、外食産業と自身の専門分野とのつながりや、その幅広い役割に触れる機会は、必ずしも多くありません。こうした背景から、京都芸術大学と日本フードサービス協会は、学生の創造力と外食産業の現場の知見を結び付け、食を取り巻く課題を新たな視点から捉える機会を創出することとしました。

■連携協力協定締結式 開催概要

日時：2026年8月3日（月）16時00分～16時30分

会場：JFセンター会議室(東京都港区浜松町1-29-6 浜松町セントラルビル10階)

出席予定者：京都芸術大学 学長 佐藤 卓

日本フードサービス協会 会長 棕本 充士 他

主な内容：協定の趣旨・概要説明、協定書への署名、代表者挨拶、記念撮影

■取材申込について

取材を希望される場合は、【8月2日（日）】までに、以下のフォームからお申込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/a2001d49359839>

※取材は事前申込制とさせていただきます。事前にお申し込みのない方は、ご入場いただけない場合があります。

※各媒体の参加人数を調整させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

■日本フードサービス協会について

外食産業の健全な発展と地位向上、豊かな食文化の継承・創造を目指し、1974年に設立。外食企業である正会員と、外食産業を支えるメーカー・商社等の賛助会員で構成されている。外食産業の業界団体として、政策提言、食の安全・安心、人材育成、環境問題への対応、調査研究、農林水産業との連携、会員間の情報共有や、食の安全・安心に関する情報提供・啓発など、幅広い事業を展開。業界と社会が抱える課題の解決を通じ、外食産業の持続的な発展と国民の豊かな食生活への貢献を目指している。

■京都芸術大学（KUA）について

芸術の力で社会を変革する「芸術立国」を理念に開学。通学・通信課程に約24,000名が在籍する日本最大規模の総合芸術大学であり、2027年に創設50周年を迎える。通学課程（10学科24コース）では企業や自治体と連携した「社会実装プロジェクト」を年間100件以上展開し、アート・デザインの力で社会課題の解決に取り組む。1998年開設の通信教育課程（5学科20コース）は日本初の4年制芸術大学通信教育であり、年齢や経験を問わず多様な学生が学べる環境を提供している。

学校法人 瓜生山学園 京都芸術大学のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/26069